

$$\Rightarrow X \sim N(\mu, \sigma^2)$$

正規分布の確率密度関数 \Rightarrow 図 5.1

性質：

1. $x = \mu$ に関して左右対称
2. 正規分布の平均，メディアン (中央値)，モード (最頻値) はすべて等しく μ
3. 下側の面積の合計は 1 \Rightarrow 連続型確率密度関数の性質

$$\int_{-\infty}^{\infty} f(x) dx = 1$$

$N(0, 1) \Rightarrow$ 標準正規分布

重要：

$X \sim N(\mu, \sigma^2)$ とする。このとき，基準化 (標準化) すると， $Z = \frac{X - \mu}{\sigma} \sim N(0, 1)$ となる。

(P.56 の定理 4.4 を参考に)

重要：

X_1, X_2, \dots, X_n は互いに独立で， X_i は平均 μ ，分散 σ^2 の正規分布に従うとする。

このとき， $\bar{X} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n X_i \sim N(\mu, \frac{\sigma^2}{n})$ となる。(P.62，定理 4.9 を参考に)

さらに，基準化 (標準化) すると， $\frac{\bar{X} - \mu}{\sigma/\sqrt{n}} \sim N(0, 1)$ となる。

5.2 正規分布表の使い方 (P.74)

分布関数 $F(x)$

$$F(x) = P(X \leq x) = \int_{-\infty}^x f(t) dt$$

$f(t)$ が正規分布の確率密度関数のとき，積分の計算は手計算は不可能

⇒ 正規分布表 (P.75, P.251) の利用

正規分布表 (P.75, P.251) ⇒ 標準正規分布 $N(0, 1)$ の確率を求める

$Z \sim N(0, 1)$ について，

$$P(Z > 1.96) = ?$$

正規分布表では，標準正規分布 $N(0, 1)$ の上側確率が計算されている。

上側確率： Z がある値 z より大きくなる確率 $P(Z > z)$

$P(Z > z) = \alpha$ となるとき， z のことを 100α % 点という。

$P(|Z| > z) = \alpha$ を両側確率と呼ぶ。

$P(|Z| > z) = \alpha$ となるとき， z のことを $100\alpha/2$ % 点という。

$$P(Z > 1.96) = 0.0250$$

例題 5.1 (P.75) : $P(Z \geq 1.64) = P(Z > 1.64) = 0.0505$

例題 5.2 (P.76) : $P(Z < 1.96) = 1 - P(Z \geq 1.96) = 1 - 0.0250 = 0.9750$

例題 5.3 (P.76) : $P(Z < -1.96) = P(Z > 1.96) = 0.0250$

例題 5.4 (P.77) : $P(-1.96 < Z < 1.64)$

$$= 1 - P(Z > 1.64) - P(Z > 1.96)$$

$$= 1 - 0.0505 - 0.0250 = 0.9245$$

例題 5.5 (P.77) : $P(0.25 < Z < 1.96)$

$$= P(Z > 0.25) - P(Z > 1.96)$$

$$= 0.4013 - 0.0250 = 0.3763$$

例題 5.6 (P.78) : $X \sim N(5, 2^2)$ のとき , $P(6 < X < 8) = ?$

解答 : $Z = \frac{X - \mu}{\sigma} \sim N(0, 1)$ を利用する。

$$Z = \frac{X - 5}{2} \sim N(0, 1) \text{ なので ,}$$

$$P(6 < X < 8)$$

$$= P\left(\frac{6 - 5}{2} < \frac{X - 5}{2} < \frac{8 - 5}{2}\right)$$

$$= P(0.5 < Z < 1.5)$$

$$= P(Z > 0.5) - P(Z > 1.5)$$

$$= 0.3085 - 0.0668 = 0.2417$$